

2019年9月6日

パラカヌー選手も参加！「パラマウントチャレンジカヌー」の開催

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「当社」）は、パラカヌーをより多くの社員に知ってもらい、体験してもらうことを目的として、8月31日に当社社員を対象とした「パラマウントチャレンジカヌー」を開催しました。

1. パラマウントチャレンジカヌーについて

「パラマウントチャレンジカヌー」とは、日本障害者カヌー協会が開催するカヌー体験イベントです。パラカヌー選手の応援や支援、障がいがあってもなくても誰でも一緒に楽しめるカヌー体験イベントを全国各地で開催し、パラカヌーの普及拡大を目指しています。当社は日本障害者カヌー協会に協賛し、パラカヌーの普及と発展を応援しています。

2. 当日の様子

当日はパラカヌー選手に加藤選手、高木選手、富岡選手、一般の障がい者、日本障害者カヌー協会会員の方々、当社社員およびその家族総勢約50名が参加しました。参加者は、カヌー体験を通じて、お互いに協力し、障がい者およびパラカヌーに対する理解を深めました。

第一部では、カヌー初心者に向けたカヌーの乗り方講座はもちろん、障がい者の方がカヌーに乗る際に必要なフィッティング作業[※]について、参加者全員で学びました。その後は、各自がカヌーに乗り、霞ヶ浦でカヌーを体験し、参加者を3つのチームにわけたゲーム形式のカヌーリレーも行いました。パラカヌー選手や障がい者の方もそれぞれのチームに加わり、参加者が選手へのフィッティング作業を行うなど、チーム一丸となって協力し、ゲームを大いに盛り上げました。

第二部では、参加者全員で霞ヶ浦の水面および周辺の流木やペットボトルなどのゴミを手分けして拾い、環境保全活動にも取り組みました。

参加者からは、「カヌーを漕ぐのが思った以上に難しかったが、楽しかった」「障がい者の方それぞれに必要なサポートが違うなど、障がい者に対する理解を深めることができた」「カヌーで使用する霞ヶ浦を清掃することができて良かった」といった声が寄せられ、障がい者スポーツへの取組みやボランティア活動を推進する機会となりました。

※ 障がい者がカヌーに乗る際、スポンジ等を用いて体を固定し安定するために行うこと。

3. 今後について

当社は今後もこの全国各地で開催される「パラマウントチャレンジカヌー」に協力するとともに、当社の社員が障がい者スポーツに参加、応援する機会を創出し、「健康応援企業」としての取組みを続けてまいります。

以上



イベント参加者全員での集合写真



左から、加藤選手、高木選手、富岡選手、
日本障害者カヌー協会の吉田会長、上岡事務局長



パドル講習の様子



カヌー体験の様子



カヌーリレーの様子



霞ヶ浦の清掃活動で収集したゴミ